

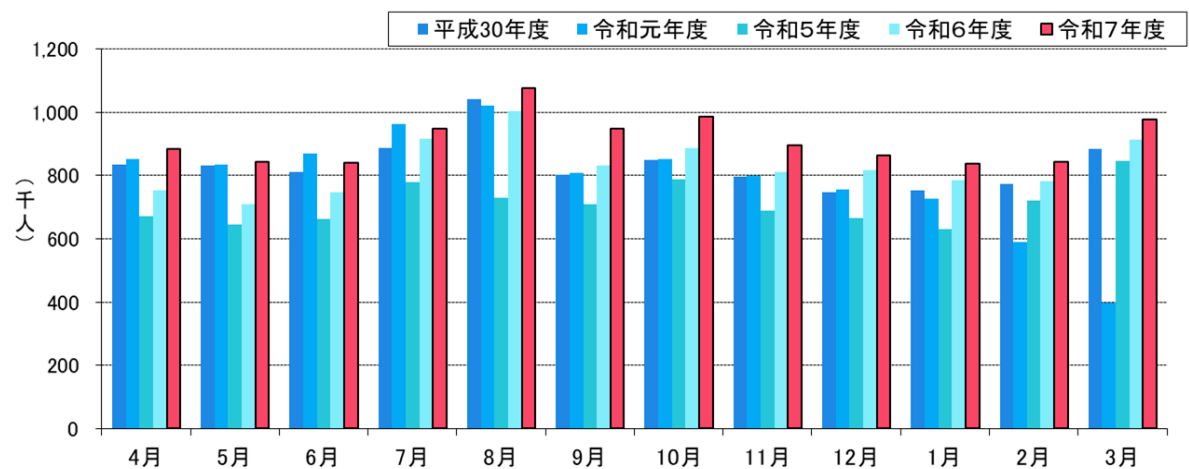
令和7年度 沖縄県入域観光客統計概況（確定版）

文化観光スポーツ部 観光政策課
令和8年6月発表

令和7年度 1,093万5,300人
対前年度(R6)比 +98万2,600人、+9.9%
年度では過去最高
※過去最高年度（H30）比 +93万1,000人、+9.3%

入域観光客数（国内＋外国）

■月別入域観光客数の推移（平成30年度、令和元年度、令和5～7年度）



■令和7年度入域観光客の状況（令和6年度・平成30年度との比較）

	(千人)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度	882.6	842.6	838.9	947.6	1,074.9	948.6	986.1	894.5	862.8	836.0	842.8	977.9	10,935.3
令和6年度	752.3	710.4	748.0	915.4	1,003.8	830.9	886.9	811.2	816.4	783.4	781.4	912.6	9,952.7
増減数	130.3	132.2	90.9	32.2	71.1	117.7	99.2	83.3	46.4	52.6	61.4	65.3	982.6
増減率	17.3%	18.6%	12.2%	3.5%	7.1%	14.2%	11.2%	10.3%	5.7%	6.7%	7.9%	7.2%	9.9%
平成30年度	833.2	830.9	809.7	885.8	1041.5	801.5	849.3	795.2	747.5	753.5	772.2	884.0	10,004.3
増減数	49.4	11.7	29.2	61.8	33.4	147.1	136.8	99.3	115.3	82.5	70.6	93.9	931.0
増減率	5.9%	1.4%	3.6%	7.0%	3.2%	18.4%	16.1%	12.5%	15.4%	10.9%	9.1%	10.6%	9.3%

■令和7年度の概況（総括）

令和7年度の入域観光客数は1,093万5,300人となり、対前年比で98万2,600人増（9.9%増）となった。また、これまで最多を記録した平成30年度に対して9.3%上回り、過去最多の記録となった。

令和7年度は、国内観光客数が過去最高を記録したほか、外国人観光客数についても、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航によりコロナ禍前（平成30年度）の水準に概ね達している。

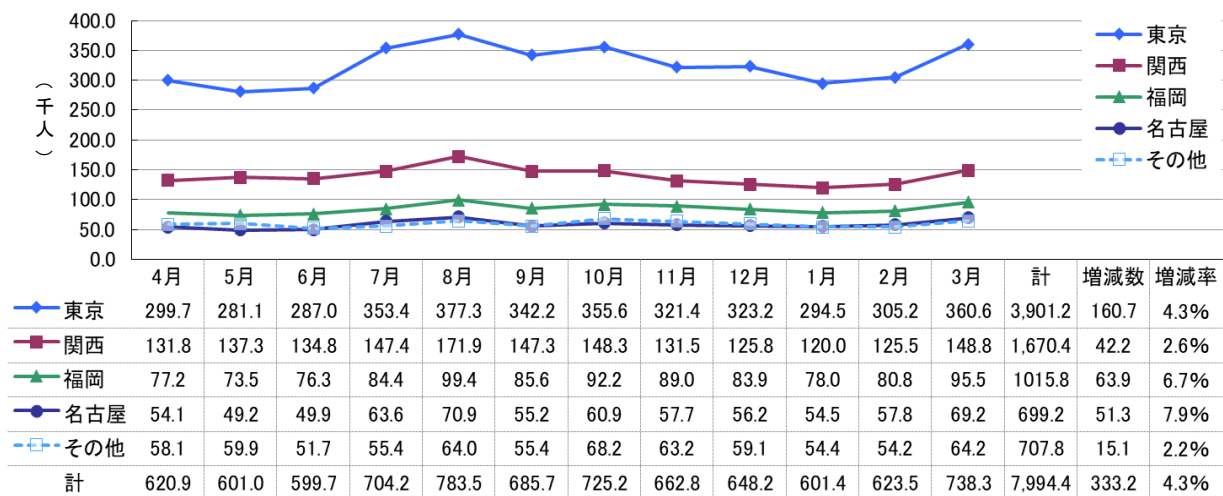
令和8年度については、国内観光客数が好調な状況であること、外国人観光客数が航空路線の増便・新規就航があることやクルーズ船の寄港が多数予定されていること等から引き続き好調に推移すると見込まれる。

国内観光客についての動向

■令和7年度国内観光客の状況（令和6年度・平成30年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度	620.9	601.0	599.7	704.2	783.5	685.7	725.2	662.8	648.2	601.4	623.5	738.3	7,994.4
令和6年度	593.4	561.5	577.6	692.3	768.8	634.6	694.5	636.8	612.3	566.8	606.4	716.2	7,661.2
増減数	27.5	39.5	22.1	11.9	14.7	51.1	30.7	26.0	35.9	34.6	17.1	22.1	333.2
増減率	4.6%	7.0%	3.8%	1.7%	1.9%	8.1%	4.4%	4.1%	5.9%	6.1%	2.8%	3.1%	4.3%
平成30年度	556.4	514.6	534.6	595.0	741.5	571.0	602.8	604.1	570.3	523.7	532.1	657.4	7,003.5
増減数	64.5	86.4	65.1	109.2	42.0	114.7	122.4	58.7	77.9	77.7	91.4	80.9	990.9
増減率	11.6%	16.8%	12.2%	18.4%	5.7%	20.1%	20.3%	9.7%	13.7%	14.8%	17.2%	12.3%	14.1%

■国内観光客の状況（方面別の月別推移）



【方面別の動向】

東京方面 夏休みや年末年始等の連続休暇期間中を中心に臨時便・季節運航があったことのほか、年間を通しての輸送実績が好調に推移したこと等から、前年度を上回り過去最多を記録した。

関西方面 夏休みや年末年始期間中における増便があったことのほか、年間を通しての輸送実績が好調に推移したこと等から、前年度を上回り過去最多を記録した。

福岡方面 夏休みや年末年始期間中における増便があったことのほか、年間を通しての輸送実績が好調に推移したこと等から、前年度を上回り過去最多を記録した。

名古屋方面 夏休みや年末年始等の連続休暇期間中を中心に臨時便・増便・季節運航があったことのほか、年間を通しての輸送実績が好調に推移したこと等から、前年度を上回り過去最多を記録した。

■国内観光客の概況

令和7年度は、旅行需要を見込んだ航空会社による臨時便・増便・季節運航等の実績が好調に推移したことから、前年度比で増加となった。年度では、これまで最多であった令和6年度を上回り過去最多を記録した。

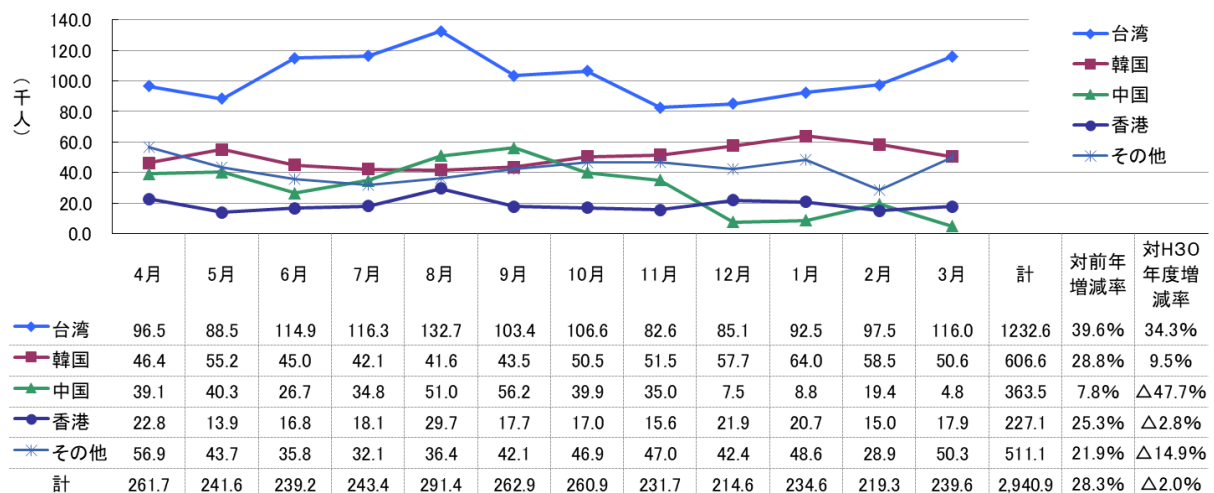
令和8年度は、引き続き各方面からの輸送実績が好調に推移することが見込まれるほか、国内・県内発着のクルーズが複数回予定されていること等から、好調に推移すると見込まれる。

外国人観光客についての動向

■令和7年度外国人観光客の状況（令和6年度・平成30年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和7年度	261.7	241.6	239.2	243.4	291.4	262.9	260.9	231.7	214.6	234.6	219.3	239.6	2,940.9
令和6年度	158.9	148.9	170.4	223.1	235.0	196.3	192.4	174.4	204.1	216.6	175.0	196.4	2,291.5
増減数	102.8	92.7	68.8	20.3	56.4	66.6	68.5	57.3	10.5	18.0	44.3	43.2	649.4
増減率	64.7%	62.3%	40.4%	9.1%	24.0%	33.9%	35.6%	32.9%	5.1%	8.3%	25.3%	22.0%	28.3%
平成30年度	276.8	316.3	275.1	290.8	300.0	230.5	246.5	191.1	177.2	229.8	240.1	226.6	3,000.8
増減数	-15.1	-74.7	-35.9	-47.4	-8.6	32.4	14.4	40.6	37.4	4.8	-20.8	13.0	-59.9
増減率	-5.5%	-23.6%	-13.0%	-16.3%	-2.9%	14.1%	5.8%	21.2%	21.1%	2.1%	-8.7%	5.7%	-2.0%

■外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



【市場別の動向】

台湾

航空路線では、那覇－台北路線や下地島－台北路線の新規就航があったほか、基隆、高雄発のクルーズ船が多数寄港したこと等により、前年度を上回り過去最多を記録した。

韓国

航空路線では、那覇－清州路線の新規就航や石垣－仁川路線の新規就航・増便があったこと等により、前年度を上回り過去最多を記録した。

中国本土

航空路線では、那覇－杭州路線の運航再開があったが、一部航空路線の欠航・減便があったこと等により、平成30年度の52.3%の水準となっている。

香港

航空路線では、石垣－香港路線の運航再開があったほか、香港発のクルーズ船が多数寄港したこと等により、平成30年度の97.2%の水準に達している。

■外国人観光客の概況

令和7年度は、航空路線の新規就航や運航再開、増便があったことのほか、クルーズ船寄港回数の増加等により、前年度比で64万9,400人の増(28.3%増)となった。平成30年度と比べると、航空路線の新規就航やクルーズ船寄港回数の増加等に伴い、98.0%の水準に達している。

令和8年度は、航空路線において那覇－台中路線(3/30～)、下地島－釜山路線(4/2～)の新規就航のほか、石垣－仁川路線(3/29～)、下地島－仁川路線(3/29～)、那覇－シンガポール路線(4/2～)、那覇－高雄路線(4/17～)の増便があること、大型クルーズ船の寄港も多数予定されていること等から引き続き堅調に推移すると見込まれる。一方、中東情勢による航空便欠航や運賃高騰などの影響も注視していく必要がある。

令和7年（2025）4月
入域観光客数概況（確定版）

88万2,600人
対前年(R6)同月比 +13万300人、+17.3%
～4月としては過去最高～

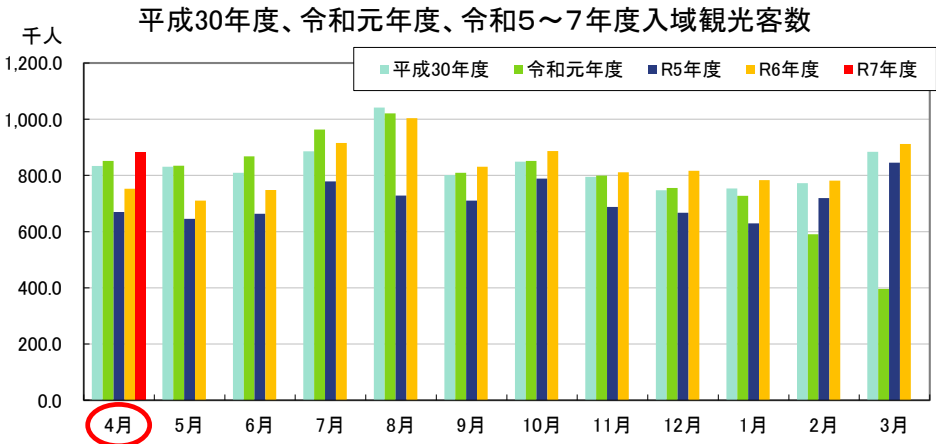
【更新履歴】①令和7年5月25日速報版公表
②令和7年7月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、7月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数 (R6年度と※R元年度との比較)

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	620,900 人	593,400 人	+ 27,500 人	+ 4.6%	70.3%	601,100 人
空路	617,900 人	588,100 人	+ 29,800 人	+ 5.1%	70.0%	596,100 人
海路	3,000 人	5,300 人	△ 2,300 人	△ 43.4%	0.3%	5,000 人
外国客	261,700 人	158,900 人	+ 102,800 人	+ 64.7%	29.7%	250,300 人
空路	168,300 人	107,500 人	+ 60,800 人	+ 56.6%	19.1%	148,400 人
海路	93,400 人	51,400 人	+ 42,000 人	+ 81.7%	10.6%	101,900 人
合計	882,600 人	752,300 人	+ 130,300 人	+ 17.3%	100.0%	851,400 人

※外国客には、海路における乗務員等27,700人を含む。



国内客 入域状況

4月は、春休み及びゴールデンウィークの旅行需要に対する航空会社の増便、季節運航があったこと等から前年同月を上回った。
5月は、「第51回 那覇ハーリー」(5/3～5/5)等の県内イベントが開催されることやゴールデンウィークに係る航空会社による増便・臨時便等があること、国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	299,700 人	286,200 人	+ 13,500 人	+ 4.7%	48.3%
関西方面	131,800 人	127,800 人	+ 4,000 人	+ 3.1%	21.2%
福岡方面	77,200 人	73,300 人	+ 3,900 人	+ 5.3%	12.4%
名古屋	54,100 人	51,000 人	+ 3,100 人	+ 6.1%	8.7%
その他	58,100 人	55,100 人	+ 3,000 人	+ 5.4%	9.4%
合計	620,900 人	593,400 人	+ 27,500 人	+ 4.6%	100.0%

参考：国内線經由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	19,300	41%	12,100	49%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	12,000	25%	5,400	22%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	6,700	14%	2,600	11%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,500	3%	900	4%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	600	1%	500	2%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	7,100	15%	3,200	13%	
合計	47,200	100%	24,700	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

4月は、航空路線において那覇－シンガポール路線（4月1日～）の増便、新石垣－仁川路線（4月3日～）の新規就航、新石垣－香港路線（4月3日～）のデ일리ー運航の再開があったことのほか、台湾・中国本土発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。
5月以降については、新石垣－台北路線（5月28日～10月25日）の運航再開等があることに加え、台湾・中国本土・香港発着のクルーズ船の寄港が複数回予定されている等から好調に推移すると見込まれる。

- トピック ▶【台湾】チャイナエアラインは那覇－高雄路線（5月31日～）を週4便から週6便に増便予定
▶【中国本土】北京首都航空は那覇－杭州路線（6月21日～8月30日）を週2便で運航再開予定

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	96,500 人	67,700 人	+ 28,800 人	+42.5%	36.9%
韓国	46,400 人	27,400 人	+ 19,000 人	+69.3%	17.7%
中国本土	39,100 人	16,000 人	+ 23,100 人	+144.4%	14.9%
香港	22,800 人	13,700 人	+ 9,100 人	+66.4%	8.7%
アメリカ	6,000 人	5,100 人	+ 900 人	+17.6%	2.3%
タイ	2,700 人	1,900 人	+ 800 人	+42.1%	1.0%
シンガポール	2,800 人	1,300 人	+ 1,500 人	+115.4%	1.1%
その他	45,400 人	25,800 人	+ 19,600 人	+76.0%	17.3%
合計	261,700 人	158,900 人	+ 102,800 人	+64.7%	100.0%

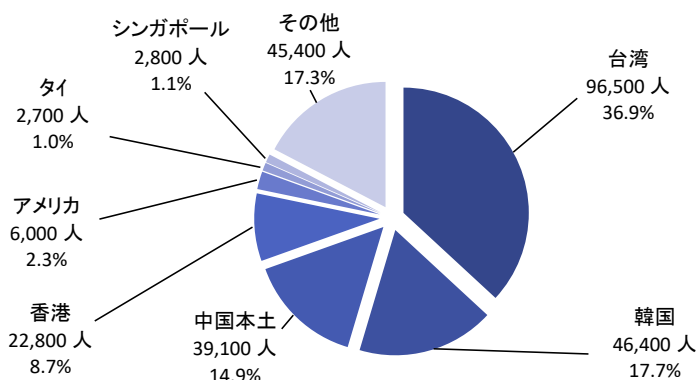
※「その他」には、海路における乗務員等27,700人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	71,200 人	51,900 人	+37.2%	42.3%	25,300 人	15,800 人	+60.1%	27.1%
韓国	46,200 人	27,400 人	+68.6%	27.5%	200 人	0 人	皆増	0.2%
中国本土	15,000 人	7,900 人	+89.9%	8.9%	24,100 人	8,100 人	+197.5%	25.8%
香港	19,400 人	10,800 人	+79.6%	11.5%	3,400 人	2,900 人	+17.2%	3.6%
アメリカ	2,900 人	1,800 人	+61.1%	1.7%	3,100 人	3,300 人	△6.1%	3.3%
タイ	2,400 人	1,900 人	+26.3%	1.4%	300 人	0 人	皆増	0.3%
シンガポール	2,300 人	1,200 人	+91.7%	1.4%	500 人	100 人	+400.0%	0.5%
その他	8,900 人	4,600 人	+93.5%	5.3%	36,500 人	21,200 人	+72.2%	39.1%
合計	168,300 人	107,500 人	+56.6%	100.0%	93,400 人	51,400 人	+81.7%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等27,700人を含む。

外国客の地域構成比



令和7年（2025）5月 入域観光客数概況（確定版）

84万2,600人
対前年（R6）同月比 +13万2,200人、+18.6%
～5月としては過去最高～

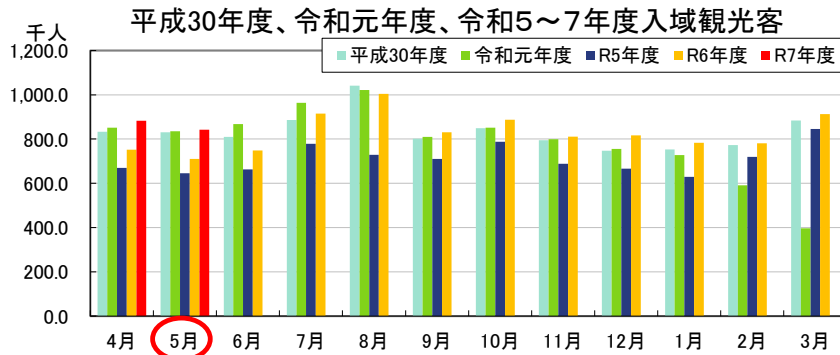
【更新履歴】①令和7年6月25日速報版公表
②令和7年8月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、8月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	601,000 人	561,500 人	+ 39,500 人	+ 7.0%	71.3%	566,500 人
空路	588,300 人	559,500 人	+ 28,800 人	+ 5.1%	69.8%	556,300 人
海路	12,700 人	2,000 人	+ 10,700 人	+ 535.0%	1.5%	10,200 人
外国客	241,600 人	148,900 人	+ 92,700 人	+ 62.3%	28.7%	268,400 人
空路	166,700 人	111,500 人	+ 55,200 人	+ 49.5%	19.8%	162,300 人
海路	74,900 人	37,400 人	+ 37,500 人	+ 100.3%	8.9%	106,100 人
合計	842,600 人	710,400 人	+ 132,200 人	+ 18.6%	100.0%	834,900 人

※外国客には、海路における乗務員等25,800人を含む。



国内客 入域状況

5月は、ゴールデンウィークの旅行需要に対する航空会社の増便、臨時便があったことのほか、県内各所で開催されたイベント等により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。
6月は、航空会社による臨時便等があること、国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	281,100 人	263,400 人	+ 17,700 人	+ 6.7%	46.8%
関西方面	137,300 人	130,500 人	+ 6,800 人	+ 5.2%	22.8%
福岡方面	73,500 人	70,600 人	+ 2,900 人	+ 4.1%	12.2%
名古屋	49,200 人	45,400 人	+ 3,800 人	+ 8.4%	8.2%
その他	59,900 人	51,600 人	+ 8,300 人	+ 16.1%	10.0%
合計	601,000 人	561,500 人	+ 39,500 人	+ 7.0%	100.0%

参考：国内線經由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	20,500	43%	12,400	52%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	12,000	25%	4,400	19%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	6,800	14%	2,600	11%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,400	3%	800	4%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	400	1%	200	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	6,200	13%	3,200	14%	
合計	47,300	100%	23,600	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

5月は、石垣－台北路線（5月28日～10月25日）の運航再開等があったことのほか、台湾発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。
6月以降については、那覇－香港路線（6月1日～）の新規就航や那覇－杭州路線（6月21日～8月30日）、下地島－香港路線（6月27日～）の運航再開等があることに加え、台湾・中国本土・香港発着のクルーズ船の寄港が複数回予定されている等から好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶【台湾】タイガーエア台湾は石垣－台北路線（7月17日～）を週2便で新規就航予定。

トピック ▶【シンガポール】ジェットスター・アジアによる那覇－シンガポール路線が7月31日をもって運航停止。それに伴いシンガポール航空グループのスクートが同路線を引き継ぐ形で就航する見通し。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	88,500 人	52,000 人	+ 36,500 人	+70.2%	36.6%
韓国	55,200 人	35,200 人	+ 20,000 人	+56.8%	22.8%
中国本土	40,300 人	24,700 人	+ 15,600 人	+63.2%	16.7%
香港	13,900 人	17,300 人	△ 3,400 人	△19.7%	5.8%
アメリカ	4,100 人	1,800 人	+ 2,300 人	+127.8%	1.7%
タイ	2,000 人	1,600 人	+ 400 人	+25.0%	0.8%
シンガポール	2,400 人	1,400 人	+ 1,000 人	+71.4%	1.0%
その他	35,200 人	14,900 人	+ 20,300 人	+136.2%	14.6%
合計	241,600 人	148,900 人	+ 92,700 人	+62.3%	100.0%

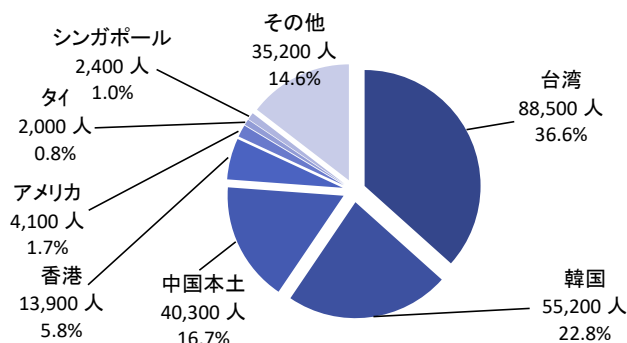
※「その他」には、海路における乗務員等25,800人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	73,400 人	51,900 人	+41.4%	44.0%	15,100 人	100 人	+15000.0%	20.2%
韓国	50,700 人	30,400 人	+66.8%	30.4%	4,500 人	4,800 人	△6.3%	6.0%
中国本土	15,900 人	8,600 人	+84.9%	9.5%	24,400 人	16,100 人	+51.6%	32.6%
香港	13,000 人	12,000 人	+8.3%	7.8%	900 人	5,300 人	△83.0%	1.2%
アメリカ	2,400 人	1,700 人	+41.2%	1.4%	1,700 人	100 人	1600.0%	2.3%
タイ	2,000 人	1,600 人	+25.0%	1.2%	0 人	0 人	—	0.0%
シンガポール	2,300 人	1,400 人	+64.3%	1.4%	100 人	0 人	皆増	0.1%
その他	7,000 人	3,900 人	+79.5%	4.2%	28,200 人	11,000 人	+156.4%	37.7%
合計	166,700 人	111,500 人	+49.5%	100.0%	74,900 人	37,400 人	+100.3%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等25,800人を含む。

外国客の地域構成比



令和7年（2025）6月 入域観光客数概況（確定版）

83万8,900人
対前年（R6）同月比　＋9万900人、＋12.2%
～6月としては過去2番目～
※過去最高年度（R元）同月比　▲R元年度29,300人、▲3.4%

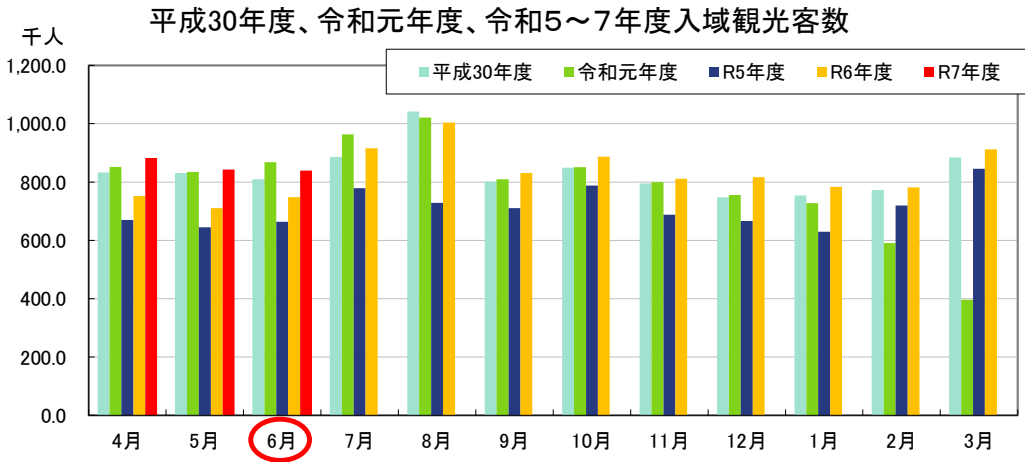
【更新履歴】①令和7年7月25日速報版公表
②令和7年9月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、9月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	599,700 人	577,600 人	＋ 22,100 人	＋ 3.8%	71.5%	569,800人
空路	595,800 人	572,300 人	＋ 23,500 人	＋ 4.1%	71.0%	565,600人
海路	3,900 人	5,300 人	△ 1,400 人	△ 26.4%	0.5%	4,200人
外国客	239,200 人	170,400 人	＋ 68,800 人	＋ 40.4%	28.5%	298,400人
空路	169,800 人	120,900 人	＋ 48,900 人	＋ 40.4%	20.2%	169,700人
海路	69,400 人	49,500 人	＋ 19,900 人	＋ 40.2%	8.3%	128,700人
合計	838,900 人	748,000 人	＋ 90,900 人	＋ 12.2%	100.0%	868,200人

※外国客には、海路における乗務員等20,300人を含む。



国内客 入域状況

6月は、航空会社の臨時便があったことのほか、輸送実績が好調だったことから、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

7月は、「ジャングリア沖縄」がグランドオープン(7/25)することや、航空会社による増便・季節運航等があること、国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	287,000 人	278,900 人	＋ 8,100 人	＋ 2.9%	47.9%
関西方面	134,800 人	128,700 人	＋ 6,100 人	＋ 4.7%	22.5%
福岡方面	76,300 人	71,800 人	＋ 4,500 人	＋ 6.3%	12.7%
名古屋	49,900 人	47,200 人	＋ 2,700 人	＋ 5.7%	8.3%
その他	51,700 人	51,000 人	＋ 700 人	＋ 1.4%	8.6%
合計	599,700 人	577,600 人	＋ 22,100 人	＋ 3.8%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	21,900	52%	15,200	56%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	7,300	17%	3,600	13%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	5,800	14%	3,300	12%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,300	3%	1,200	5%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	200	0%	100	0%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	5,900	14%	3,500	13%	
合計	42,400	100%	26,900	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。

外国客 入域状況

6月は、那覇－香港路線（6月1日～）の新規就航や那覇－杭州路線（6月21日～8月30日）、下地島－香港路線（6月27日～）の運航再開等があったことのほか台湾・香港発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。

7月以降については、石垣－台北路線（7月17日～）の新規就航があることに加え、台湾・中国本土発着の大型クルーズ船の寄港が複数回予定されている等から好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶【台湾】スターラックス航空は下地島－台北路線（8月22日～10月25日）を週2便で期間運航予定。宮古圏域と台湾との直行便は初めてとなる。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	114,900 人	81,800 人	+ 33,100 人	+40.5%	48.0%
韓国	45,000 人	30,900 人	+ 14,100 人	+45.6%	18.8%
中国本土	26,700 人	16,400 人	+ 10,300 人	+62.8%	11.2%
香港	16,800 人	13,700 人	+ 3,100 人	+22.6%	7.0%
アメリカ	4,200 人	4,200 人	+ 0 人	+0.0%	1.8%
タイ	1,300 人	1,500 人	△ 200 人	△13.3%	0.5%
シンガポール	3,000 人	1,600 人	+ 1,400 人	+87.5%	1.3%
その他	27,300 人	20,300 人	+ 7,000 人	+34.5%	11.4%
合計	239,200 人	170,400 人	+ 68,800 人	+40.4%	100.0%

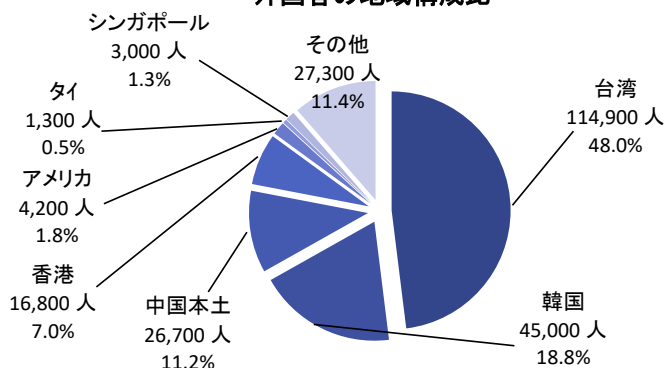
※「その他」には、海路における乗務員等20,300人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	78,600 人	56,200 人	+39.9%	46.3%	36,300 人	25,600 人	+41.8%	52.3%
韓国	44,900 人	30,500 人	+47.2%	26.4%	100 人	400 人	△75.0%	0.1%
中国本土	16,900 人	11,300 人	+49.6%	10.0%	9,800 人	5,100 人	+92.2%	14.1%
香港	16,100 人	13,600 人	+18.4%	9.5%	700 人	100 人	+600.0%	1.0%
アメリカ	3,400 人	2,300 人	+47.8%	2.0%	800 人	1,900 人	△57.9%	1.2%
タイ	1,300 人	1,500 人	△13.3%	0.8%	0 人	0 人	—	0.0%
シンガポール	2,900 人	1,500 人	+93.3%	1.7%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
その他	5,700 人	4,000 人	+42.5%	3.4%	21,600 人	16,300 人	+32.5%	31.1%
合計	169,800 人	120,900 人	+40.4%	100.0%	69,400 人	49,500 人	+40.2%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等20,300人を含む。

外国客の地域構成比



令和7年（2025）7月
入域観光客数概況（確定版）

94万7,600人
対前年（R6）同月比 +3万2,200人、+3.5%
※過去最高年度（R元）同月比 ▲R元年度16,000人、▲1.7%

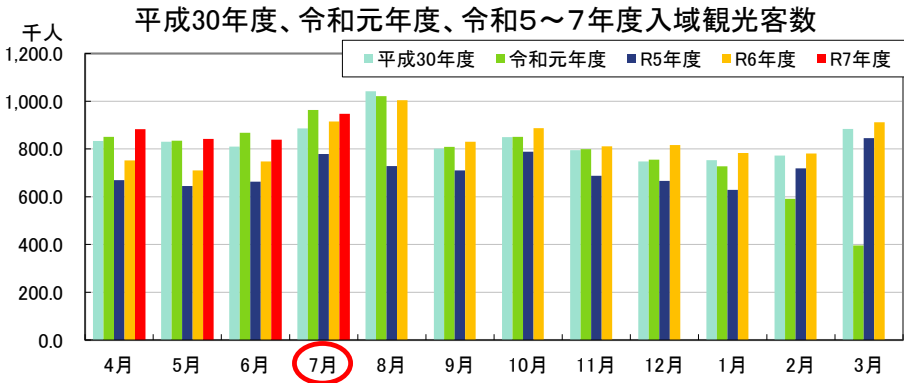
【更新履歴】①令和7年8月25日速報版公表
②令和7年10月27日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、10月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	704,200 人	692,300 人	+ 11,900 人	+ 1.7%	74.3%	660,800人
空路	701,900 人	689,700 人	+ 12,200 人	+ 1.8%	74.1%	653,900人
海路	2,300 人	2,600 人	△ 300 人	△ 11.5%	0.2%	6,900人
外国客	243,400 人	223,100 人	+ 20,300 人	+ 9.1%	25.7%	302,800人
空路	177,600 人	134,100 人	+ 43,500 人	+ 32.4%	18.7%	174,000人
海路	65,800 人	89,000 人	△ 23,200 人	△ 26.1%	6.9%	128,800人
合計	947,600 人	915,400 人	+ 32,200 人	+ 3.5%	100.0%	963,600人

※外国客には、海路における乗務員等18,800人を含む。



国内客 入域状況

7月は、航空会社の増便・臨時便・季節運航があったことのほか、「ジャングリア沖縄」が開業（7/25）したことや花火大会等の県内各種イベントの開催により、前年同月を上回った。特に、東京・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	353,400 人	347,800 人	+ 5,600 人	+ 1.6%	50.2%
関西方面	147,400 人	148,700 人	△ 1,300 人	△ 0.9%	20.9%
福岡方面	84,400 人	81,800 人	+ 2,600 人	+ 3.2%	12.0%
名古屋	63,600 人	56,700 人	+ 6,900 人	+ 12.2%	9.0%
その他	55,400 人	57,300 人	△ 1,900 人	△ 3.3%	7.9%
合計	704,200 人	692,300 人	+ 11,900 人	+ 1.7%	100.0%

参考:国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	28,000	50%	18,100	51%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	11,600	21%	7,000	20%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	7,000	13%	4,200	12%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,700	3%	1,100	3%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	500	1%	400	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	7,200	13%	4,700	13%	
合計	56,000	100%	35,500	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

7月は、クルーズ船の寄港回数は前年よりも減少したが、石垣ー台北路線(7月17日～)の新規就航等があったことから、前年同月を上回った。

8月以降については、下地島ー台北路線(8月22日～10月25日)の新規就航があったことや、台湾・中国本土・香港発着のクルーズ船の寄港が複数回予定されている等から好調に推移すると見込まれる。

トピック ▶【韓国】エアロKは那覇ー清州路線(10月1日～)を週7便で新規就航予定。同路線の定期便運航は初めて。

外国客 国籍別入域状況

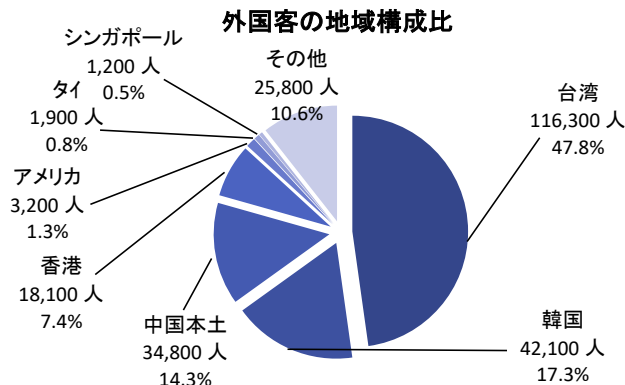
区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	116,300 人	91,300 人	+ 25,000 人	+27.4%	47.8%
韓国	42,100 人	38,000 人	+ 4,100 人	+10.8%	17.3%
中国本土	34,800 人	42,000 人	△ 7,200 人	△17.1%	14.3%
香港	18,100 人	16,800 人	+ 1,300 人	+7.7%	7.4%
アメリカ	3,200 人	2,100 人	+ 1,100 人	+52.4%	1.3%
タイ	1,900 人	1,600 人	+ 300 人	+18.8%	0.8%
シンガポール	1,200 人	900 人	+ 300 人	+33.3%	0.5%
その他	25,800 人	30,400 人	△ 4,600 人	△15.1%	10.6%
合計	243,400 人	223,100 人	+ 20,300 人	+9.1%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等18,800人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	83,200 人	59,100 人	+40.8%	46.8%	33,100 人	32,200 人	+2.8%	50.3%
韓国	42,000 人	38,000 人	+10.5%	23.6%	100 人	0 人	皆増	0.2%
中国本土	22,900 人	12,200 人	+87.7%	12.9%	11,900 人	29,800 人	△60.1%	18.1%
香港	16,900 人	15,700 人	+7.6%	9.5%	1,200 人	1,100 人	+9.1%	1.8%
アメリカ	3,100 人	1,900 人	+63.2%	1.7%	100 人	200 人	△50.0%	0.2%
タイ	1,800 人	1,600 人	+12.5%	1.0%	100 人	0 人	皆増	0.2%
シンガポール	1,000 人	900 人	+11.1%	0.6%	200 人	0 人	皆増	0.3%
その他	6,700 人	4,700 人	+42.6%	3.8%	19,100 人	25,700 人	△25.7%	29.0%
合計	177,600 人	134,100 人	+32.4%	100.0%	65,800 人	89,000 人	△26.1%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等18,800人を含む。



令和7年（2025）8月
入域観光客数概況（確定版）

107万4,900人
対前年（R6）同月比 +7万1,100人、+7.1%
～8月としては過去最高～

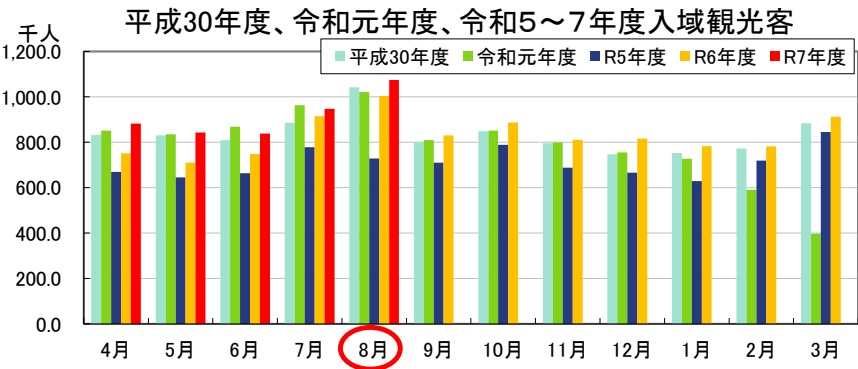
【更新履歴】①令和7年9月25日速報版公表
②令和7年11月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、11月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H30年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	783,500 人	768,800 人	+ 14,700 人	+ 1.9%	72.9%	741,500人
空路	780,400 人	766,100 人	+ 14,300 人	+ 1.9%	72.6%	734,400人
海路	3,100 人	2,700 人	+ 400 人	+ 14.8%	0.3%	7,100人
外国客	291,400 人	235,000 人	+ 56,400 人	+ 24.0%	27.1%	300,000人
空路	202,000 人	134,300 人	+ 67,700 人	+ 50.4%	18.8%	165,900人
海路	89,400 人	100,700 人	△ 11,300 人	△ 11.2%	8.3%	134,100人
合計	1,074,900 人	1,003,800 人	+ 71,100 人	+ 7.1%	100.0%	1,041,500人

※外国客には、海路における乗務員等23,100人を含む。



国内客 入域状況

8月は、台風による大きな影響もなく、夏休み期間中の旅行需要に対する航空会社の増便・臨時便があったことから前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	377,300 人	373,800 人	+ 3,500 人	+ 0.9%	48.2%
関西方面	171,900 人	168,700 人	+ 3,200 人	+ 1.9%	21.9%
福岡方面	99,400 人	94,600 人	+ 4,800 人	+ 5.1%	12.7%
名古屋	70,900 人	67,400 人	+ 3,500 人	+ 5.2%	9.0%
その他	64,000 人	64,300 人	△ 300 人	△ 0.5%	8.2%
合計	783,500 人	768,800 人	+ 14,700 人	+ 1.9%	100.0%

参考: 国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	26,100	48%	14,500	44%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	14,000	26%	8,600	26%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	6,000	11%	4,800	14%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,000	2%	700	2%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	200	0%	200	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	6,800	13%	4,500	14%	
合計	54,100	100%	33,300	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

8月は、下地島ー台北路線(8月22日～10月25日)の新規就航等があったことや那覇ー台中路線(8月1日～10月24日)、那覇ー台北路線(8月2日～9月4日)の期間増便があったことから、前年同月を上回った。

トピック ▶【シンガポール】シンガポール航空グループのスクートが那覇ーシンガポール路線(12月15日～)を週3便で新規就航予定。

外国客 国籍別入域状況

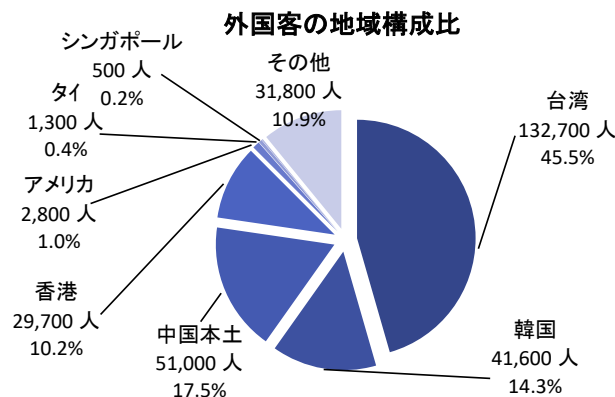
区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	132,700 人	120,000 人	+ 12,700 人	+10.6%	45.5%
韓国	41,600 人	34,800 人	+ 6,800 人	+19.5%	14.3%
中国本土	51,000 人	27,600 人	+ 23,400 人	+84.8%	17.5%
香港	29,700 人	15,700 人	+ 14,000 人	+89.2%	10.2%
アメリカ	2,800 人	2,100 人	+ 700 人	+33.3%	1.0%
タイ	1,300 人	1,100 人	+ 200 人	+18.2%	0.4%
シンガポール	500 人	900 人	△ 400 人	△44.4%	0.2%
その他	31,800 人	32,800 人	△ 1,000 人	△3.0%	10.9%
合計	291,400 人	235,000 人	+ 56,400 人	+24.0%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等23,100人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	97,800 人	62,100 人	+57.5%	48.4%	34,900 人	57,900 人	△39.7%	39.0%
韓国	41,400 人	34,800 人	+19.0%	20.5%	200 人	0 人	皆増	0.2%
中国本土	28,200 人	13,900 人	+102.9%	14.0%	22,800 人	13,700 人	+66.4%	25.5%
香港	23,600 人	15,500 人	+52.3%	11.7%	6,100 人	200 人	+2950.0%	6.8%
アメリカ	2,500 人	1,900 人	+31.6%	1.2%	300 人	200 人	50.0%	0.3%
タイ	1,100 人	1,000 人	+10.0%	0.5%	200 人	100 人	100.0%	0.2%
シンガポール	300 人	800 人	△62.5%	0.1%	200 人	100 人	+100.0%	0.2%
その他	7,100 人	4,300 人	+65.1%	3.5%	24,700 人	28,500 人	△13.3%	27.6%
合計	202,000 人	134,300 人	+50.4%	100.0%	89,400 人	100,700 人	△11.2%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等23,100人を含む。



令和7年（2025）9月 入域観光客数概況（確定版）

94万8,600人
対前年（R6）同月比 +11万7,700人、+14.2%
～9月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年10月27日速報版公表
②令和7年12月25日確定版公表

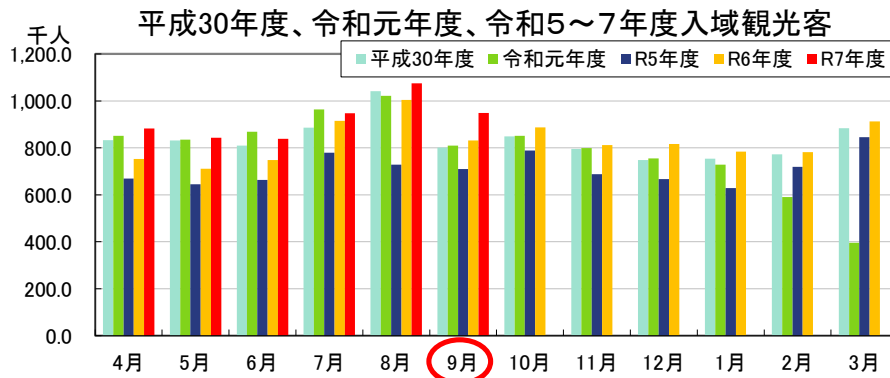
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、12月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H29年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H29年度
国内客	685,700 人	634,600 人	+ 51,100 人	+ 8.1%	72.3%	603,600人
空路	681,500 人	633,000 人	+ 48,500 人	+ 7.7%	71.8%	601,300人
海路	4,200 人	1,600 人	+ 2,600 人	+ 162.5%	0.4%	2,300人
外国客	262,900 人	196,300 人	+ 66,600 人	+ 33.9%	27.7%	233,500人
空路	173,200 人	125,400 人	+ 47,800 人	+ 38.1%	18.3%	146,200人
海路	89,700 人	70,900 人	+ 18,800 人	+ 26.5%	9.5%	87,300人
合計	948,600 人	830,900 人	+ 117,700 人	+ 14.2%	100.0%	837,100人

※外国客には、海路における乗務員等25,200人を含む。



国内客 入域状況

9月は、航空会社の増便・臨時便の運航や国内・県内発着クルーズの寄港があったことに加え、沖縄全島エイサーまつり（9/12～9/14）をはじめとした県内各地でのイベント開催等により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	342,200 人	324,400 人	+ 17,800 人	+ 5.5%	49.9%
関西方面	147,300 人	132,700 人	+ 14,600 人	+ 11.0%	21.5%
福岡方面	85,600 人	75,200 人	+ 10,400 人	+ 13.8%	12.5%
名古屋	55,200 人	49,900 人	+ 5,300 人	+ 10.6%	8.1%
その他	55,400 人	52,400 人	+ 3,000 人	+ 5.7%	8.1%
合計	685,700 人	634,600 人	+ 51,100 人	+ 8.1%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	23,900	50%	13,700	53%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	9,600	20%	4,400	17%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	6,500	14%	3,600	14%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,300	3%	800	3%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	200	0%	100	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	6,100	13%	3,300	13%	
合計	47,600	100%	25,900	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

9月は、台湾・韓国路線の輸送実績が順調であったことや、中国本土・香港発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年同月を上回った。特に、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

トピック ▶【台湾】タイガーエア台湾は那覇－台南路線(12月25日～)を週2便で新規就航予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	103,400 人	85,200 人	+ 18,200 人	+21.4%	39.3%
韓国	43,500 人	36,200 人	+ 7,300 人	+20.2%	16.5%
中国本土	56,200 人	28,800 人	+ 27,400 人	+95.1%	21.4%
香港	17,700 人	13,100 人	+ 4,600 人	+35.1%	6.7%
アメリカ	3,000 人	2,800 人	+ 200 人	+7.1%	1.1%
タイ	1,100 人	1,200 人	△ 100 人	△8.3%	0.4%
シンガポール	500 人	1,200 人	△ 700 人	△58.3%	0.2%
その他	37,500 人	27,800 人	+ 9,700 人	+34.9%	14.3%
合計	262,900 人	196,300 人	+ 66,600 人	+33.9%	100.0%

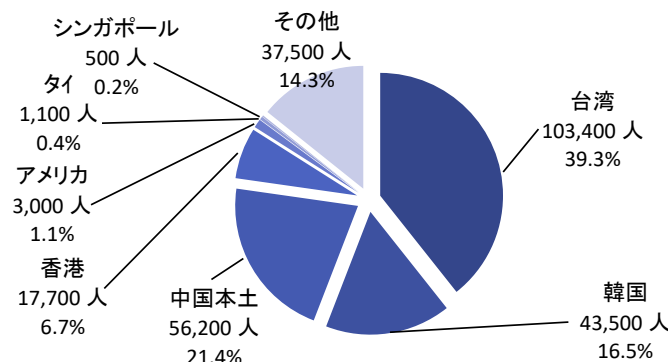
※「その他」には、海路における乗務員等25,200人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	85,200 人	57,700 人	+47.7%	49.2%	18,200 人	27,500 人	△33.8%	20.3%
韓国	43,400 人	36,000 人	+20.6%	25.1%	100 人	200 人	△50.0%	0.1%
中国本土	19,300 人	10,900 人	+77.1%	11.1%	36,900 人	17,900 人	+106.1%	41.1%
香港	14,300 人	12,300 人	+16.3%	8.3%	3,400 人	800 人	+325.0%	3.8%
アメリカ	2,100 人	1,700 人	+23.5%	1.2%	900 人	1,100 人	△18.2%	1.0%
タイ	1,000 人	1,100 人	△9.1%	0.6%	100 人	100 人	0.0%	0.1%
シンガポール	300 人	1,000 人	△70.0%	0.2%	200 人	200 人	+0.0%	0.2%
その他	7,600 人	4,700 人	+61.7%	4.4%	29,900 人	23,100 人	+29.4%	33.3%
合計	173,200 人	125,400 人	+38.1%	100.0%	89,700 人	70,900 人	+26.5%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等25,200人を含む。

外国客の地域構成比



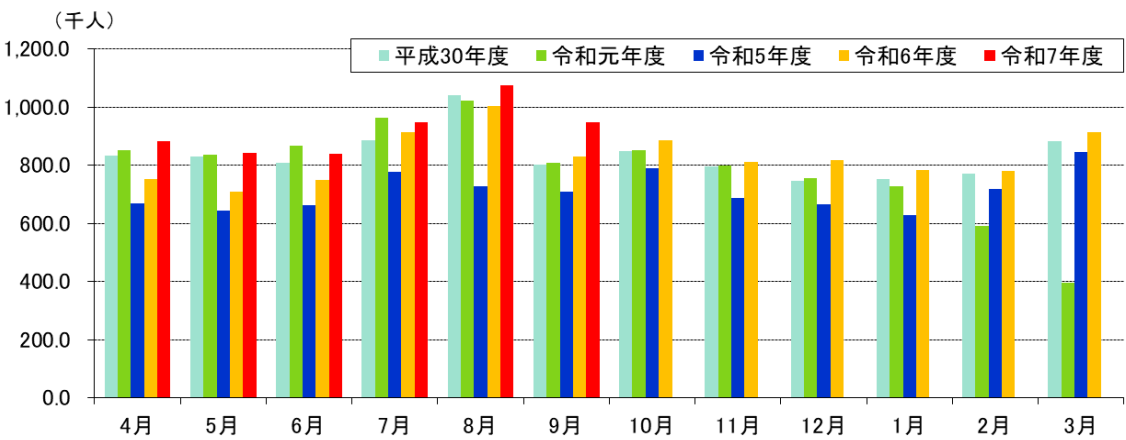
令和 7 年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況（確定版）

文化観光スポーツ部 観光政策課
令和 7 年12月確定値発表

令和 7 年度上半期 553万5,200人
対前年度(R 6)比 + 57万4,400人 + 11.6%
同期比では過去最高

入域観光客数（国内＋外国）

■ 月別入域観光客数の推移（平成30年度、令和元年度、令和 5 ～ 7 年度）



■ 令和 7 年度上半期入域観光客の状況（令和 6 年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和7年度	882,600	842,600	838,900	947,600	1,074,900	948,600	5,535,200
令和6年度	752,300	710,400	748,000	915,400	1,003,800	830,900	4,960,800
増減数	130,300	132,200	90,900	32,200	71,100	117,700	574,400
増減率	17.3%	18.6%	12.2%	3.5%	7.1%	14.2%	11.6%
令和元年度	851,400	834,900	868,200	963,600	1,021,200	809,300	5,348,600
増減数	31,200	7,700	-29,300	-16,000	53,700	139,300	186,600
増減率	3.7%	0.9%	-3.4%	-1.7%	5.3%	17.2%	3.5%

■ 令和 7 年度上半期の概況（総括）

令和 7 年度上半期の入域観光客数は、553万5,200人と、前年度同期比11.6%増（57万4,400人増）となった。これまで過去最高であった令和元年度上半期と比較すると3.5%増（18万6,600人増）となり好調に推移している。

国内観光客数は、航空路線の搭乗率が好調に推移したこと等から、過去最高を記録した。外国人観光客数は、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航等により前年度同期を上回る水準で推移した。

国内観光客についての動向

■令和7年度上半期国内観光客の状況（令和6年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和7年度	620,900	601,000	599,700	704,200	783,500	685,700	3,995,000
令和6年度	593,400	561,500	577,600	692,300	768,800	634,600	3,828,200
増減数	27,500	39,500	22,100	11,900	14,700	51,100	166,800
増減率	4.6%	7.0%	3.8%	1.7%	1.9%	8.1%	4.4%
令和元年度	601,100	566,500	569,800	660,800	738,300	590,600	3,727,100
増減数	19,800	34,500	29,900	43,400	45,200	95,100	267,900
増減率	3.3%	6.1%	5.2%	6.6%	6.1%	16.1%	7.2%

■国内観光客の概況

令和7年度上半期において、旅行需要を見込んだ航空会社の増便・臨時便・季節運航等や搭乗率が好調に推移したことから、対前年度同期をいずれも上回った。上半期累計では対前年同期比で4.4%増（16万6,800人増）となった。

また、令和元年度に対しても同期比で増加しており、過去最高を記録した。

下半期も、修学旅行の入込みやチャーター便の運航が多数予定されていることから、引き続き好調に推移すると見込まれる。

外国人観光客についての動向

■令和7年度上半期外国人観光客の状況（令和6年度・令和元年度上半期との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
令和7年度	261,700	241,600	239,200	243,400	291,400	262,900	1,540,200
令和6年度	158,900	148,900	170,400	223,100	235,000	196,300	1,132,600
増減数	102,800	92,700	68,800	20,300	56,400	66,600	407,600
増減率	64.7%	62.3%	40.4%	9.1%	24.0%	33.9%	36.0%
令和元年度	250,300	268,400	298,400	302,800	282,900	218,700	1,621,500
増減数	11,400	-26,800	-59,200	-59,400	8,500	44,200	-81,300
増減率	4.6%	-10.0%	-19.8%	-19.6%	3.0%	20.2%	-5.0%

■外国人観光客の概況

令和7年度上半期は、航空路線の再開・新規就航、クルーズ船寄港回数の増加等により、前年度同期比で36.0%増（40万7,600人増）となった。

また、令和元年度上半期と比較すると、航空路線の復便やクルーズ船寄港回数の増加等に伴い、95.0%の水準に達している。

下半期は、那覇ー清州路線の新規就航、大型クルーズ船（台湾発着）の多数寄港予定等により堅調に推移すると見込まれるが、一部航空路線の欠航・減便やクルーズ船の寄港中止による影響も注視していく必要がある。

令和7年（2025）10月 入域観光客数概況（確定版）

98万6,100人
対前年（R6）同月比 +9万9,200人、+11.2%
～10月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年11月25日速報版公表
②令和8年1月26日確定版公表

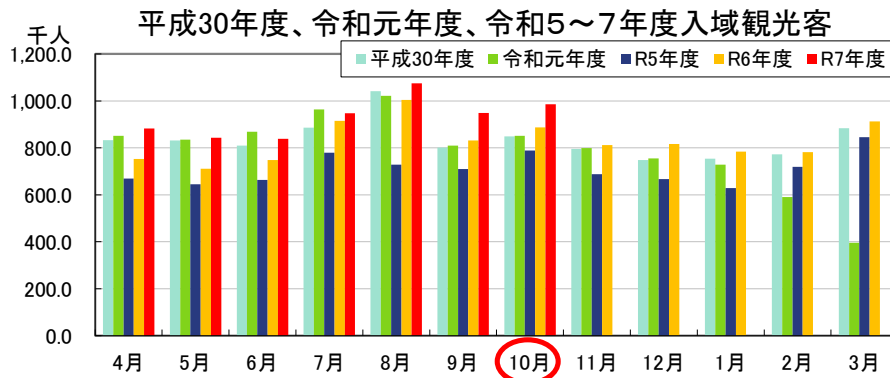
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、1月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	725,200 人	694,500 人	+ 30,700 人	+ 4.4%	73.5%	620,800人
空路	721,300 人	688,600 人	+ 32,700 人	+ 4.7%	73.1%	615,200人
海路	3,900 人	5,900 人	△ 2,000 人	△ 33.9%	0.4%	5,600人
外国客	260,900 人	192,400 人	+ 68,500 人	+ 35.6%	26.5%	230,500人
空路	181,700 人	123,800 人	+ 57,900 人	+ 46.8%	18.4%	123,100人
海路	79,200 人	68,600 人	+ 10,600 人	+ 15.5%	8.0%	107,400人
合計	986,100 人	886,900 人	+ 99,200 人	+ 11.2%	100.0%	851,300人

※外国客には、海路における乗務員等24,800人を含む。



国内客 入域状況

10月は、修学旅行の入込みシーズンを迎えるほか、航空会社の増便・臨時便の運航、国内・県内発着クルーズの寄港があったこと等により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	355,600 人	347,500 人	+ 8,100 人	+ 2.3%	49.0%
関西方面	148,300 人	143,200 人	+ 5,100 人	+ 3.6%	20.4%
福岡方面	92,200 人	87,700 人	+ 4,500 人	+ 5.1%	12.7%
名古屋	60,900 人	54,700 人	+ 6,200 人	+ 11.3%	8.4%
その他	68,200 人	61,400 人	+ 6,800 人	+ 11.1%	9.4%
合計	725,200 人	694,500 人	+ 30,700 人	+ 4.4%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	23,600	43%	14,700	49%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	12,200	22%	5,700	19%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	9,200	17%	4,100	14%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,600	3%	900	3%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	600	1%	500	2%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	8,400	15%	4,100	14%	
合計	55,600	100%	30,000	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

10月は、航空路線において那覇－清州路線（10月1日～）の新規就航があったことや、台湾・中国本土発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年同月を上回った。特に、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

トピック ▶【台湾】日本トランスオーシャン航空は那覇－台北路線（2月3日～）をデイリー運航で新規就航予定。また、スターラックス航空は下地島－台中路線（2月13日～3月27日）を週2便で新規就航、下地島－台北路線（2月12日～3月26日）を週2便で運航再開予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	106,600 人	67,200 人	+ 39,400 人	+58.6%	40.9%
韓国	50,500 人	36,000 人	+ 14,500 人	+40.3%	19.4%
中国本土	39,900 人	32,100 人	+ 7,800 人	+24.3%	15.3%
香港	17,000 人	13,200 人	+ 3,800 人	+28.8%	6.5%
アメリカ	4,700 人	7,900 人	△ 3,200 人	△40.5%	1.8%
タイ	2,400 人	1,900 人	+ 500 人	+26.3%	0.9%
シンガポール	1,000 人	1,800 人	△ 800 人	△44.4%	0.4%
その他	38,800 人	32,300 人	+ 6,500 人	+20.1%	14.9%
合計	260,900 人	192,400 人	+ 68,500 人	+35.6%	100.0%

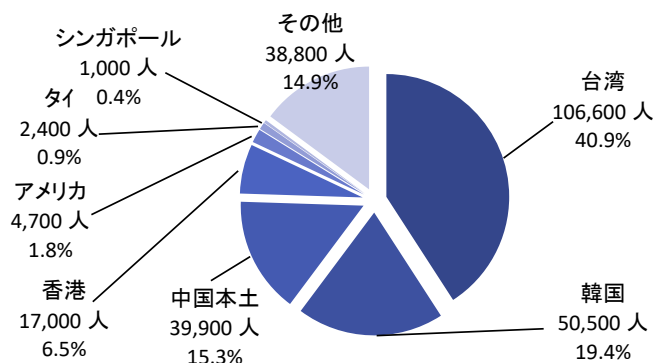
※「その他」には、海路における乗務員等24,800人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	85,800 人	54,800 人	+56.6%	47.2%	20,800 人	12,400 人	+67.7%	26.3%
韓国	49,500 人	35,700 人	+38.7%	27.2%	1,000 人	300 人	+233.3%	1.3%
中国本土	17,000 人	9,400 人	+80.9%	9.4%	22,900 人	22,700 人	+0.9%	28.9%
香港	14,400 人	11,900 人	+21.0%	7.9%	2,600 人	1,300 人	+100.0%	3.3%
アメリカ	2,600 人	2,300 人	+13.0%	1.4%	2,100 人	5,600 人	△62.5%	2.7%
タイ	2,000 人	1,800 人	+11.1%	1.1%	400 人	100 人	300.0%	0.5%
シンガポール	700 人	1,700 人	△58.8%	0.4%	300 人	100 人	+200.0%	0.4%
その他	9,700 人	6,200 人	+56.5%	5.3%	29,100 人	26,100 人	+11.5%	36.7%
合計	181,700 人	123,800 人	+46.8%	100.0%	79,200 人	68,600 人	+15.5%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等24,800人を含む。

外国客の地域構成比



令和7年（2025）11月 入域観光客数概況（確定版）

89万4,500人
対前年（R6）同月比 +8万3,300人、+10.3%
～11月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年12月25日速報版公表
②令和8年2月25日確定版公表

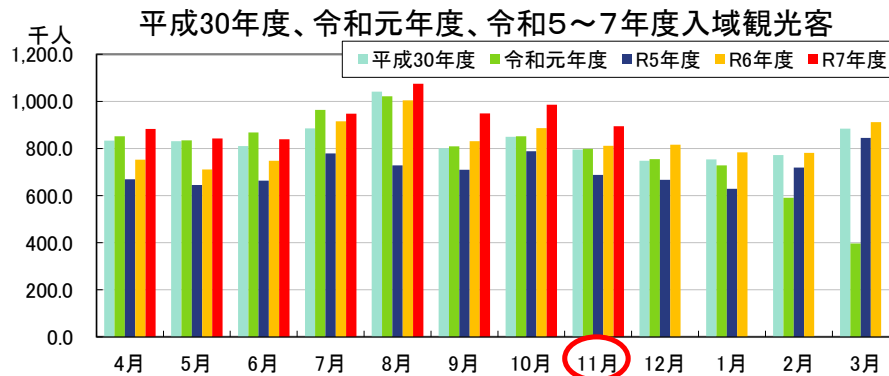
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、2月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※R7年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R7年度
国内客	662,800 人	636,800 人	+ 26,000 人	+ 4.1%	74.1%	600,100人
空路	661,000 人	632,400 人	+ 28,600 人	+ 4.5%	73.9%	596,100人
海路	1,800 人	4,400 人	△ 2,600 人	△ 59.1%	0.2%	4,000人
外国客	231,700 人	174,400 人	+ 57,300 人	+ 32.9%	25.9%	199,100人
空路	157,300 人	118,000 人	+ 39,300 人	+ 33.3%	17.6%	97,900人
海路	74,400 人	56,400 人	+ 18,000 人	+ 31.9%	8.3%	101,200人
合計	894,500 人	811,200 人	+ 83,300 人	+ 10.3%	100.0%	799,200人

※外国客には、海路における乗務員等22,500人を含む。



国内客 入域状況

11月は、修学旅行の最盛期であることや国内・県内発着クルーズの寄港があったことにより、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	321,400 人	310,000 人	+ 11,400 人	+ 3.7%	48.5%
関西方面	131,500 人	131,500 人	+ 0 人	+ 0.0%	19.8%
福岡方面	89,000 人	81,300 人	+ 7,700 人	+ 9.5%	13.4%
名古屋	57,700 人	55,100 人	+ 2,600 人	+ 4.7%	8.7%
その他	63,200 人	58,900 人	+ 4,300 人	+ 7.3%	9.5%
合計	662,800 人	636,800 人	+ 26,000 人	+ 4.1%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	18,600	52%	13,400	49%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	6,800	19%	4,600	17%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	4,600	13%	4,600	17%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	900	2%	800	3%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	400	1%	300	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	4,700	13%	3,600	13%	
合計	36,000	100%	27,300	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。
 ※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

11月は、台湾・韓国路線の需要が好調であったことや、台湾発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年同月を上回った。特に、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

トピック ▶【韓国】ジエアーは石垣－仁川路線（3月29日～）を週5便から1日1便に増便予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	82,600 人	59,600 人	+ 23,000 人	+38.6%	35.6%
韓国	51,500 人	38,400 人	+ 13,100 人	+34.1%	22.2%
中国本土	35,000 人	30,300 人	+ 4,700 人	+15.5%	15.1%
香港	15,600 人	13,000 人	+ 2,600 人	+20.0%	6.7%
アメリカ	5,700 人	4,900 人	+ 800 人	+16.3%	2.5%
タイ	1,900 人	1,700 人	+ 200 人	+11.8%	0.8%
シンガポール	1,400 人	2,600 人	△ 1,200 人	△46.2%	0.6%
その他	38,000 人	23,900 人	+ 14,100 人	+59.0%	16.4%
合計	231,700 人	174,400 人	+ 57,300 人	+32.9%	100.0%

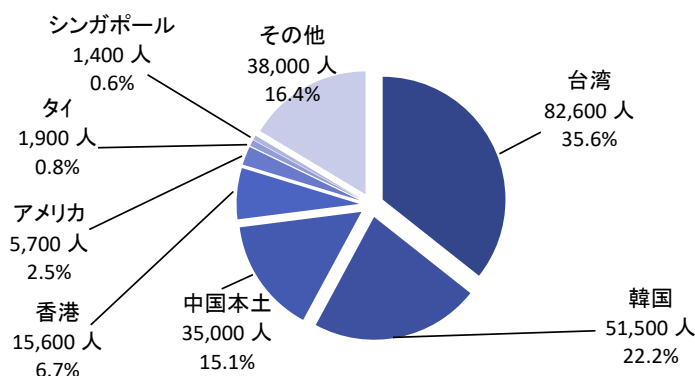
※「その他」には、海路における乗務員等22,500人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	69,400 人	49,400 人	+40.5%	44.1%	13,200 人	10,200 人	+29.4%	17.7%
韓国	50,500 人	38,100 人	+32.5%	32.1%	1,000 人	300 人	+233.3%	1.3%
中国本土	11,200 人	6,500 人	+72.3%	7.1%	23,800 人	23,800 人	+0.0%	32.0%
香港	13,400 人	12,600 人	+6.3%	8.5%	2,200 人	400 人	+450.0%	3.0%
アメリカ	2,900 人	2,300 人	+26.1%	1.8%	2,800 人	2,600 人	7.7%	3.8%
タイ	1,700 人	1,500 人	+13.3%	1.1%	200 人	200 人	0.0%	0.3%
シンガポール	1,100 人	2,400 人	△54.2%	0.7%	300 人	200 人	+50.0%	0.4%
その他	7,100 人	5,200 人	+36.5%	4.5%	30,900 人	18,700 人	+65.2%	41.5%
合計	157,300 人	118,000 人	+33.3%	100.0%	74,400 人	56,400 人	+31.9%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等22,500人を含む。

外国客の地域構成比



令和7年（2025）12月 入域観光客数概況（確定版）

86万2,800人
対前年（R6）同月比 +4万6,400人、+5.7%
～12月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年1月26日速報版公表

②令和8年3月25日確定版公表

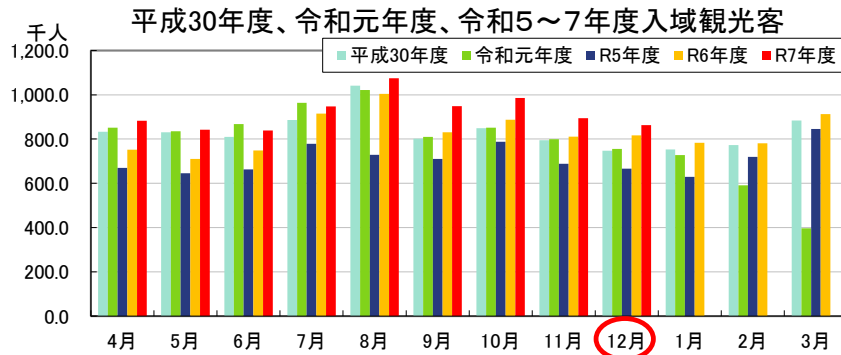
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、3月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	648,200 人	612,300 人	+ 35,900 人	+ 5.9%	75.1%	572,700 人
空路	645,900 人	610,500 人	+ 35,400 人	+ 5.8%	74.9%	566,000 人
海路	2,300 人	1,800 人	+ 500 人	+ 27.8%	0.3%	6,700 人
外国客	214,600 人	204,100 人	+ 10,500 人	+ 5.1%	24.9%	182,400 人
空路	162,700 人	130,900 人	+ 31,800 人	+ 24.3%	18.9%	105,000 人
海路	51,900 人	73,200 人	△ 21,300 人	△ 29.1%	6.0%	77,400 人
合計	862,800 人	816,400 人	+ 46,400 人	+ 5.7%	100.0%	755,100 人

※外国客には、海路における乗務員等18,600人を含む。



国内客 入域状況

12月は、引き続き修学旅行シーズンが続いたことに加え、年末年始の需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便や地方発着のチャーター便の運航があったことにより、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	323,200 人	298,400 人	+ 24,800 人	+ 8.3%	49.9%
関西方面	125,800 人	125,000 人	+ 800 人	+ 0.6%	19.4%
福岡方面	83,900 人	79,200 人	+ 4,700 人	+ 5.9%	12.9%
名古屋	56,200 人	51,500 人	+ 4,700 人	+ 9.1%	8.7%
その他	59,100 人	58,200 人	+ 900 人	+ 1.5%	9.1%
合計	648,200 人	612,300 人	+ 35,900 人	+ 5.9%	100.0%

参考：国内線經由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	19,200	59%	14,100	56%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	3,200	10%	3,300	13%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スウェーデン、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	4,900	15%	4,100	16%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	400	1%	500	2%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	300	1%	100	0%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	4,800	15%	3,100	12%	
合計	32,800	100%	25,200	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

12月は、年末年始の需要の高まりに加え、航空会社の那覇ーシンガポール路線(12月15日～)や那覇ー台南路線(12月25日～)の新規就航があったことのほか、台湾発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。特に、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

- トピック ▶【台湾】タイガーエア台湾は那覇ー台中路線(3月30日～)を週2便で新規就航予定。
- トピック ▶【韓国】ジンエアーは下地島ー仁川路線(3月29日～)を週5便からデイリー運航に増便予定。また、下地島ー釜山路線(4月2日～)についても週2便で新規就航予定。
- ▶【香港】香港エクスプレスは那覇ー香港路線(3月29日～)を1日2便から3便に増便予定。また、石垣ー香港路線(3月29日～)もデイリー運航で運航再開予定。ただし再開当初はデイリーだが4月13日以降週4便。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	85,100 人	62,600 人	+ 22,500 人	+35.9%	39.7%
韓国	57,700 人	45,700 人	+ 12,000 人	+26.3%	26.9%
中国本土	7,500 人	23,800 人	△ 16,300 人	△68.5%	3.5%
香港	21,900 人	24,500 人	△ 2,600 人	△10.6%	10.2%
アメリカ	3,300 人	5,700 人	△ 2,400 人	△42.1%	1.5%
タイ	2,800 人	2,700 人	+ 100 人	+3.7%	1.3%
シンガポール	4,100 人	4,300 人	△ 200 人	△4.7%	1.9%
その他	32,200 人	34,800 人	△ 2,600 人	△7.5%	15.0%
合計	214,600 人	204,100 人	+ 10,500 人	+5.1%	100.0%

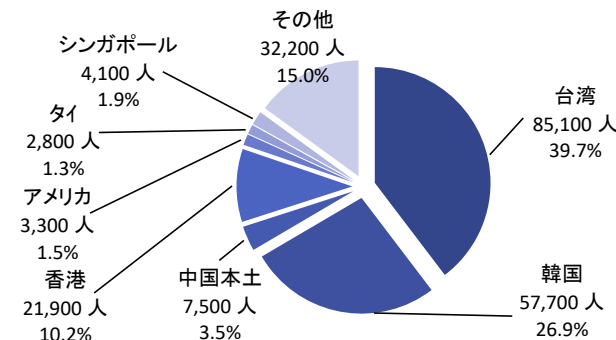
※「その他」には、海路における乗務員等18,600人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	69,700 人	49,100 人	+42.0%	42.8%	15,400 人	13,500 人	+14.1%	29.7%
韓国	56,000 人	44,700 人	+25.3%	34.4%	1,700 人	1,000 人	+70.0%	3.3%
中国本土	4,400 人	7,900 人	△44.3%	2.7%	3,100 人	15,900 人	△80.5%	6.0%
香港	17,900 人	16,300 人	+9.8%	11.0%	4,000 人	8,200 人	△51.2%	7.7%
アメリカ	2,700 人	2,400 人	+12.5%	1.7%	600 人	3,300 人	△81.8%	1.2%
タイ	2,600 人	2,200 人	+18.2%	1.6%	200 人	500 人	△60.0%	0.4%
シンガポール	3,300 人	3,600 人	△8.3%	2.0%	800 人	700 人	+14.3%	1.5%
その他	6,100 人	4,700 人	+29.8%	3.7%	26,100 人	30,100 人	△13.3%	50.3%
合計	162,700 人	130,900 人	+24.3%	100.0%	51,900 人	73,200 人	△29.1%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等18,600人を含む。

外国客の地域構成比



令和8年（2026）1月
入域観光客数概況（確定版）

83万6,000人
対前年（R7）同月比　＋5万2,600人、＋6.7%
～1月としては過去最高～

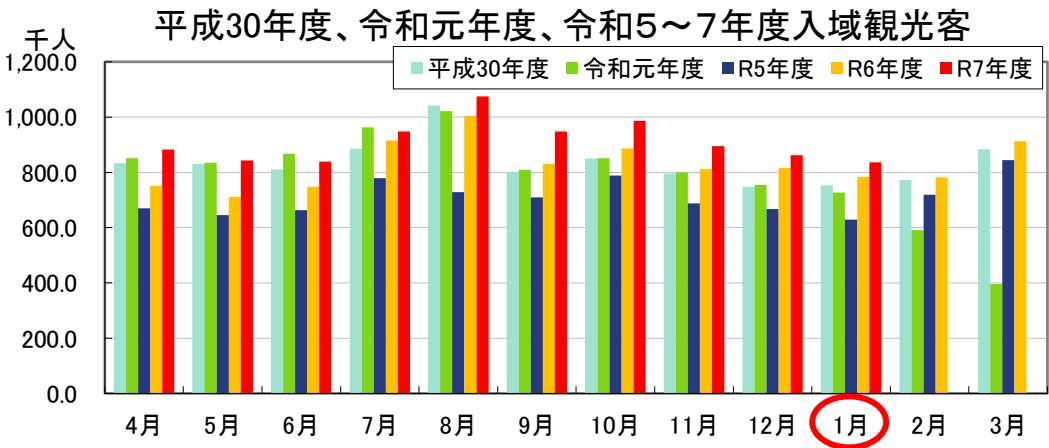
【更新履歴】①令和8年2月25日速報版公表
②令和8年4月27日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、4月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H30年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	601,400 人	566,800 人	＋ 34,600 人	＋ 6.1%	71.9%	523,700人
空路	599,700 人	565,100 人	＋ 34,600 人	＋ 6.1%	71.7%	521,600人
海路	1,700 人	1,700 人	＋ 0 人	＋ 0.0%	0.2%	2,100人
外国客	234,600 人	216,600 人	＋ 18,000 人	＋ 8.3%	28.1%	229,800人
空路	168,900 人	148,400 人	＋ 20,500 人	＋ 13.8%	20.2%	150,300人
海路	65,700 人	68,200 人	△ 2,500 人	△ 3.7%	7.9%	79,500人
合計	836,000 人	783,400 人	＋ 52,600 人	＋ 6.7%	100.0%	753,500人

※外国客には、海路における乗務員等22,100人を含む。



国内客 入域状況

1月は、年始の需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便や地方発着のチャーター便の運航があったことのほか、Jリーグサッカーキャンプ等の県内イベントの開催により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	294,500 人	274,400 人	＋ 20,100 人	＋ 7.3%	49.0%
関西方面	120,000 人	116,500 人	＋ 3,500 人	＋ 3.0%	20.0%
福岡方面	78,000 人	73,000 人	＋ 5,000 人	＋ 6.8%	13.0%
名古屋	54,500 人	48,000 人	＋ 6,500 人	＋ 13.5%	9.1%
その他	54,400 人	54,900 人	△ 500 人	△ 0.9%	9.0%
合計	601,400 人	566,800 人	＋ 34,600 人	＋ 6.1%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	18,500	59%	13,500	58%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	2,300	7%	2,000	9%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	4,600	15%	4,100	18%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	600	2%	300	1%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	400	1%	200	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	5,100	16%	3,100	13%	
合計	31,500	100%	23,200	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。

※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

1月は、年始の需要の高まりに加え、台湾・香港発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。特に、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

トピック ▶【台湾】タイガーエア台湾は石垣ー台北路線(6月1日～)を週2便から週4便に増便予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	92,500 人	63,100 人	+ 29,400 人	+46.6%	39.4%
韓国	64,000 人	60,500 人	+ 3,500 人	+5.8%	27.3%
中国本土	8,800 人	41,500 人	△ 32,700 人	△78.8%	3.8%
香港	20,700 人	15,500 人	+ 5,200 人	+33.5%	8.8%
アメリカ	2,900 人	3,600 人	△ 700 人	△19.4%	1.2%
タイ	2,100 人	1,500 人	+ 600 人	+40.0%	0.9%
シンガポール	2,500 人	1,900 人	+ 600 人	+31.6%	1.1%
その他	41,100 人	29,000 人	+ 12,100 人	+41.7%	17.5%
合計	234,600 人	216,600 人	+ 18,000 人	+8.3%	100.0%

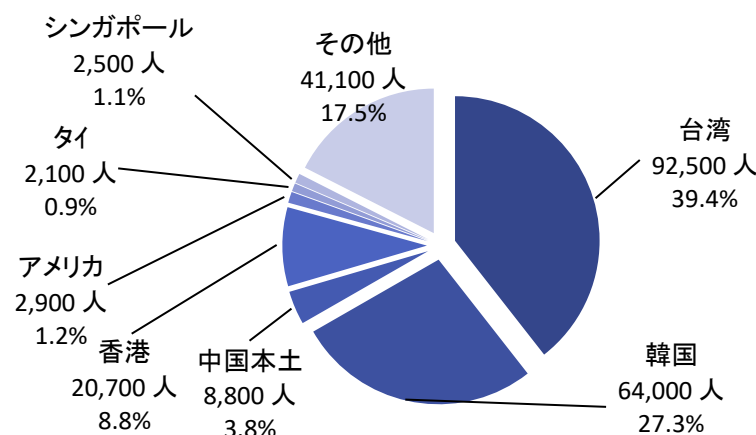
※「その他」には、海路における乗務員等22,100人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	80,100 人	59,000 人	+35.8%	47.4%	12,400 人	4,100 人	+202.4%	18.9%
韓国	61,400 人	51,300 人	+19.7%	36.4%	2,600 人	9,200 人	△71.7%	4.0%
中国本土	4,600 人	16,100 人	△71.4%	2.7%	4,200 人	25,400 人	△83.5%	6.4%
香港	12,100 人	12,500 人	△3.2%	7.2%	8,600 人	3,000 人	+186.7%	13.1%
アメリカ	1,900 人	1,700 人	+11.8%	1.1%	1,000 人	1,900 人	△47.4%	1.5%
タイ	1,500 人	1,400 人	+7.1%	0.9%	600 人	100 人	500.0%	0.9%
シンガポール	1,900 人	1,800 人	+5.6%	1.1%	600 人	100 人	+500.0%	0.9%
その他	5,400 人	4,600 人	+17.4%	3.2%	35,700 人	24,400 人	+46.3%	54.3%
合計	168,900 人	148,400 人	+13.8%	100.0%	65,700 人	68,200 人	△3.7%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等22,100人を含む。

外国客の地域構成比



令和8年（2026）2月 入域観光客数概況（確定版）

84万2,800人
対前年（R7）同月比 +6万1,400人、+7.9%
～2月としては過去最高～

【更新履歴】①令和8年3月25日速報版公表
②令和8年5月25日確定版公表

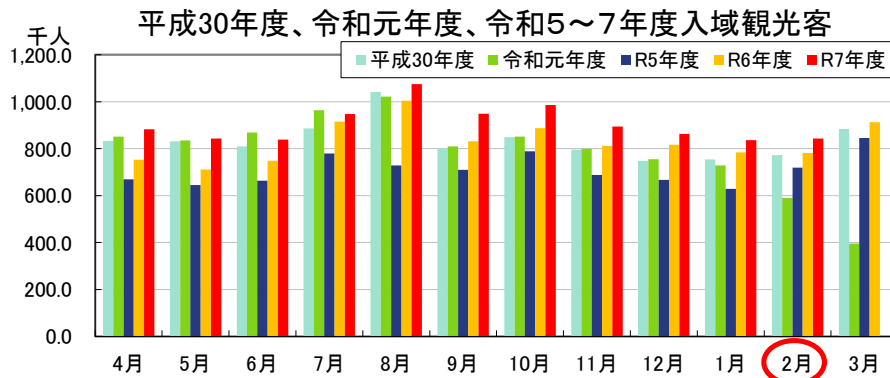
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、5月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H30年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	623,500 人	606,400 人	+ 17,100 人	+ 2.8%	74.0%	532,100人
空路	621,300 人	604,400 人	+ 16,900 人	+ 2.8%	73.7%	526,800人
海路	2,200 人	2,000 人	+ 200 人	+ 10.0%	0.3%	5,300人
外国客	219,300 人	175,000 人	+ 44,300 人	+ 25.3%	26.0%	240,100人
空路	173,000 人	130,300 人	+ 42,700 人	+ 32.8%	20.5%	138,800人
海路	46,300 人	44,700 人	+ 1,600 人	+ 3.6%	5.5%	101,300人
合計	842,800 人	781,400 人	+ 61,400 人	+ 7.9%	100.0%	772,200人

※外国客には、海路における乗務員等13,400人を含む。



国内客 入域状況

2月は、地方チャーター便の運航があったことのほか、プロ野球キャンプ等の県内イベントの開催により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	305,200 人	294,600 人	+ 10,600 人	+ 3.6%	48.9%
関西方面	125,500 人	124,900 人	+ 600 人	+ 0.5%	20.1%
福岡方面	80,800 人	74,700 人	+ 6,100 人	+ 8.2%	13.0%
名古屋	57,800 人	54,200 人	+ 3,600 人	+ 6.6%	9.3%
その他	54,200 人	58,000 人	△ 3,800 人	△ 6.6%	8.7%
合計	623,500 人	606,400 人	+ 17,100 人	+ 2.8%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	17,600	54%	11,600	52%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	3,100	9%	2,200	10%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	5,700	18%	4,600	21%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	400	1%	300	1%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	100	0%	100	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	5,600	17%	3,200	15%	
合計	32,500	100%	22,000	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。

※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

2月は、航空会社の那覇－台北路線（2月3日～）や下地島－台中路線（2月13日～3月27日）の新規就航、石垣－台北路線（2月4日）や下地島－台北路線（2月12日～3月27日）の運航再開があったことから、前年同月を上回った。特に、台湾・韓国・香港からの観光客は過去最多を記録した。外国客総数については、平成30年度に次ぐ記録となった。

トピック ▶【台湾】チャイナエアラインは那覇－台中路線（7月21日～）を週7便で運航再開予定。

外国客 国籍別入域状況

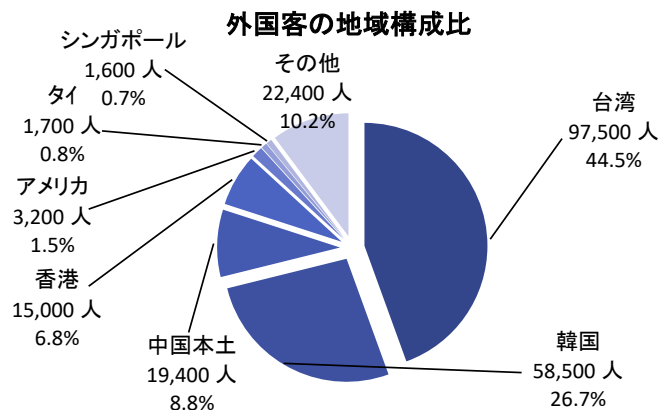
区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	97,500 人	53,300 人	+ 44,200 人	+82.9%	44.5%
韓国	58,500 人	46,400 人	+ 12,100 人	+26.1%	26.7%
中国本土	19,400 人	37,400 人	△ 18,000 人	△48.1%	8.8%
香港	15,000 人	11,000 人	+ 4,000 人	+36.4%	6.8%
アメリカ	3,200 人	4,000 人	△ 800 人	△20.0%	1.5%
タイ	1,700 人	1,700 人	+ 0 人	+0.0%	0.8%
シンガポール	1,600 人	1,500 人	+ 100 人	+6.7%	0.7%
その他	22,400 人	19,700 人	+ 2,700 人	+13.7%	10.2%
合計	219,300 人	175,000 人	+ 44,300 人	+25.3%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等13,400人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	85,700 人	53,300 人	+60.8%	49.5%	11,800 人	0 人	皆増	25.5%
韓国	58,500 人	46,300 人	+26.3%	33.8%	0 人	100 人	皆減	0.0%
中国本土	5,800 人	11,100 人	△47.7%	3.4%	13,600 人	26,300 人	△48.3%	29.4%
香港	13,400 人	10,900 人	+22.9%	7.7%	1,600 人	100 人	+1500.0%	3.5%
アメリカ	1,900 人	1,700 人	+11.8%	1.1%	1,300 人	2,300 人	△43.5%	2.8%
タイ	1,700 人	1,700 人	+0.0%	1.0%	0 人	0 人	—	0.0%
シンガポール	1,600 人	1,500 人	+6.7%	0.9%	0 人	0 人	—	0.0%
その他	4,400 人	3,800 人	+15.8%	2.5%	18,000 人	15,900 人	+13.2%	38.9%
合計	173,000 人	130,300 人	+32.8%	100.0%	46,300 人	44,700 人	+3.6%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等13,400人を含む。



令和8年（2026）3月 入域観光客数概況（確定版）

97万7,900人
対前年（R7）同月比 +6万5,300人、+7.2%
～3月としては過去最高～

【更新履歴】①令和8年4月27日速報版公表
②令和8年6月25日確定版公表

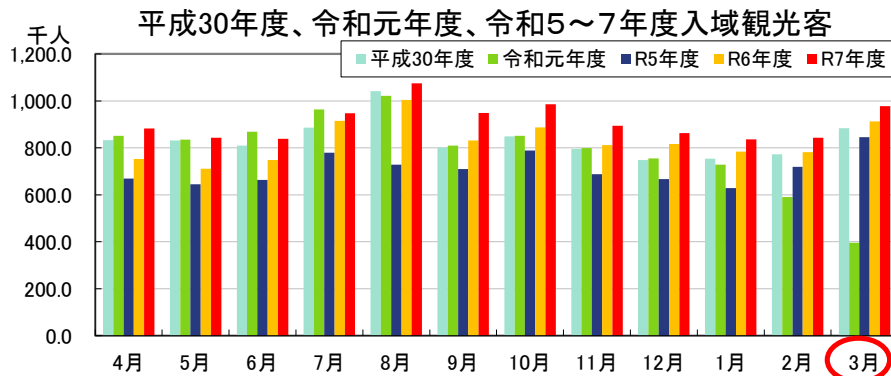
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、6月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H30年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	738,300 人	716,200 人	+ 22,100 人	+ 3.1%	75.5%	657,400人
空路	735,700 人	712,500 人	+ 23,200 人	+ 3.3%	75.2%	649,600人
海路	2,600 人	3,700 人	△ 1,100 人	△ 29.7%	0.3%	7,800人
外国客	239,600 人	196,400 人	+ 43,200 人	+ 22.0%	24.5%	226,600人
空路	177,900 人	138,000 人	+ 39,900 人	+ 28.9%	18.2%	142,100人
海路	61,700 人	58,400 人	+ 3,300 人	+ 5.7%	6.3%	845,00人
合計	977,900 人	912,600 人	+ 65,300 人	+ 7.2%	100.0%	884,000人

※外国客には、海路における乗務員等20,200人を含む。



国内客 入域状況

3月は、春休みによる旅行需要の高まりから航空会社の臨時便や地方チャーター便の運航があったことから、前年同月を上回った。特に、東京・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	360,600 人	341,100 人	+ 19,500 人	+ 5.7%	48.8%
関西方面	148,800 人	150,000 人	△ 1,200 人	△ 0.8%	20.2%
福岡方面	95,500 人	88,700 人	+ 6,800 人	+ 7.7%	12.9%
名古屋	69,200 人	66,800 人	+ 2,400 人	+ 3.6%	9.4%
その他	64,200 人	69,600 人	△ 5,400 人	△ 7.8%	8.7%
合計	738,300 人	716,200 人	+ 22,100 人	+ 3.1%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	25,900	56%	14,000	53%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	7,600	17%	4,000	15%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	4,900	11%	4,100	16%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	600	1%	700	2%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	200	0%	100	0%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	6,700	15%	3,600	14%	
合計	45,900	100%	26,500	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出（推計方法が異なるため、年度比較に留意）。

※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

3月は、航空会社が2月から新規就航・運航再開した台湾路線が好調であることのほか、台湾発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。特に台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

トピック ▶【香港】グレーターベイ航空は那覇－香港路線（7月11日～10月24日）を1日1往復で新規就航予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	116,000 人	79,000 人	+ 37,000 人	+46.8%	48.4%
韓国	50,600 人	41,400 人	+ 9,200 人	+22.2%	21.1%
中国本土	4,800 人	16,700 人	△ 11,900 人	△71.3%	2.0%
香港	17,900 人	13,700 人	+ 4,200 人	+30.7%	7.5%
アメリカ	5,600 人	6,900 人	△ 1,300 人	△18.8%	2.3%
タイ	2,400 人	2,200 人	+ 200 人	+9.1%	1.0%
シンガポール	2,600 人	2,000 人	+ 600 人	+30.0%	1.1%
その他	39,700 人	34,500 人	+ 5,200 人	+15.1%	16.6%
合計	239,600 人	196,400 人	+ 43,200 人	+22.0%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等20,200人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	88,600 人	60,500 人	+46.4%	49.8%	27,400 人	18,500 人	+48.1%	44.4%
韓国	50,500 人	41,300 人	+22.3%	28.4%	100 人	100 人	+0.0%	0.2%
中国本土	4,700 人	9,300 人	△49.5%	2.6%	100 人	7,400 人	△98.6%	0.2%
香港	16,500 人	13,600 人	+21.3%	9.3%	1,400 人	100 人	+1300.0%	2.3%
アメリカ	3,800 人	3,100 人	+22.6%	2.1%	1,800 人	3,800 人	△52.6%	2.9%
タイ	2,400 人	2,200 人	+9.1%	1.3%	0 人	0 人	—	0.0%
シンガポール	2,500 人	1,900 人	+31.6%	1.4%	100 人	100 人	+0.0%	0.2%
その他	8,900 人	6,100 人	+45.9%	5.0%	30,800 人	28,400 人	+8.5%	49.9%
合計	177,900 人	138,000 人	+28.9%	100.0%	61,700 人	58,400 人	+5.7%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等20,200人を含む。

外国客の地域構成比

